

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第7部門第3区分

【発行日】平成20年2月14日(2008.2.14)

【公開番号】特開2001-218256(P2001-218256A)

【公開日】平成13年8月10日(2001.8.10)

【出願番号】特願2000-376208(P2000-376208)

【国際特許分類】

H 04 Q	7/36	(2006.01)
H 04 M	3/00	(2006.01)
H 04 L	12/56	(2006.01)

【F I】

H 04 B	7/26	104 A
H 04 M	3/00	D
H 04 L	12/56	200 Z

【手続補正書】

【提出日】平成19年12月11日(2007.12.11)

【手続補正1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】特許請求の範囲

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

通信システム中でメッセージを制御するための方法であって、前記方法が、
第1の移動体交換センター(MSC)から、第2の移動体交換センター(MSC)を同定するメッセージブロッキングリクエストを、システム制御機能コンポーネントにおいて受信するステップと、

前記第2の移動体交換センター(MSC)から前記第1の移動体交換センター(MSC)へ、メッセージが通信されることを防止するステップを有することを特徴とする方法。

【請求項2】

前記防止するステップは、前記システム制御機能コンポーネントにおいて実行されることを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項3】

メッセージブロッキングコマンドを、前記第2の移動体交換センター(MSC)に送るステップをさらに有することを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項4】

前記防止するステップは、前記第2の移動体交換センター(MSC)において実行されることを特徴とする請求項3記載の方法。

【請求項5】

前記メッセージブロッキングリクエストは、ブロッキングピリオドの期間を特定することを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項6】

前記メッセージブロッキングリクエストは、前記ブロッキングピリオドの間の少なくとも1つの受け入れインターバルを特定し、前記受け入れインターバルは、少なくとも1つのメッセージが前記第2の移動体交換センター(MSC)から前記第1の移動体交換センター(MSC)へ通信され得るピリオドであることを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項7】

前記メッセージブロッキングリクエストは、メッセージを前記第2の移動体交換センター

(M S C) から前記第1の移動体交換センター (M S C) へ通信する代わりに、前記第2の移動体交換センター (M S C)によりとられるべきアクションを特定することを特徴とする請求項1記載の方法。

【請求項8】

前記システム制御機能コンポーネントは、前記メッセージプロッキングリクエスト中で特定されたアクションを修正することができることを特徴とする請求項7記載の方法。

【請求項9】

前記アクションが、前記第2の移動体交換センター (M S C) から、特定された代替的宛先へ、前記メッセージを通信することを含むことを特徴とする請求項7記載の方法。